

武甲山山行報告（2022年11月27日（日））

参加者： 伊藤（L）、池田、石井、中島（4名）

行程： 8:46 横瀬 8:50=タクシー（¥2,220）=9:00 一の鳥居登山口 9:10-10:40 大杉の広場
-11:35 武甲山頂（1,304m）御岳神社で昼食 12:30-13:10 長者屋敷ノ頭 14:00 林道終点-15:
10 浦山口駅 15:38=16:38 飯能駅（反省会） 18:40 解散

今回の目的地である武甲山は秩父の名山、だいぶ削られてしまったとはいえ、遠くから見るその姿はなかなか格好がいい。5年以上前から毎年のように企画したがなかなか実行できず、今回もトラブルがあったが、なんとか実行に移すことができた。

本日は8時50分に横瀬駅集合としたが、前日の夜に電話したところではタクシーの予約が取れず焦った。早めに来て「秩父ハイヤー」に電話したところ簡単に予約が取れてほっとした。8時46分には池田・石井・中島の皆さんが集合してタクシーに乗り込む。我々はタクシー利用だが、その道を延々と歩く登山者もいる。一の鳥居に近づくと路駐の車がズラッと並んでいて、人気の山ではあるがこれほど混雑しているとは思わなかった。

タクシーは10分強で一の鳥居（生川）登山口に着いた（2,220円）。駐車場も満杯だったが、そこにきれいなトイレができていたのには驚いた。身支度をして9時10分に出発、簡易舗装の道を登って行く。なお、このコースには丁目石があり、一の鳥居が1丁目、山頂が52丁目とのことなので先は長そうだと心配になる。生川沿いの道を行くとまもなく簡易舗装の道が終わって山道に入る。昔ながらの参道とあって、歩きやすい山道であるが、ひたすら上りなので疲れる。我々はゆっくり登って行くので時々追い越されるが、駐車している車の数の割には前後に人は多くない。ほとんど杉林の中で薄暗く寒い道だが風が無いので、本日は快晴で気温はかなり低いがゆっくり登っても汗が出てくる。

10時40分「大杉の広場」着、その名のとおり大きな杉が立っている。一息入れて歩き出すが、どこまでも杉林の中のひたすら上りという単調な道である。上の方に一部白い林が見えたが、あれはそこだけ落葉樹林なので地面の石に苔が生えず白かったようだ。最後はかなり疲れてきたが、丁目石もだんだん間隔が短くなってきたのでどんどん頂上が近づく気がする。昔の参拝者は登山になれていなかったもので、楽に登れるような配慮だろうか。

まもなく建物（トイレ、それも水洗）がある広場に到着、頂上直下の肩にあたる場所である。ここから1分ほどで御岳神社の大きな社殿がある。さらに神社の裏から数分で第1展望台に11時35分に着いた。山頂が削られてしまったためここを頂上としているらしいが、反対側に落ちこまないように立派な柵がえんえんと続いている。本日は快晴、白くなった浅間山が大きく見え、谷川連峰や日光の山も見えている。そして真下には秩父盆地を見下ろし、北側の秩父の山も余すところなく見えている。残念ながら西と南は樹木が邪魔をするため、富士山は見えなかった。30分近く展望を楽しんだり記念写真を撮ったりしていると、さすがに寒くなってきたので先ほどの肩の広場まで降りて昼食とする。

神社本殿の隣の建物の軒先は日当たりが良く風が無いので休憩にはもってこいである。食事後トイレも拝借して12時30分下山開始、反対側の浦山口方面に下る。登りはひたすら杉林の中を登りで全く展望がなかったが、下りは雑木とカラ松林でありところどころ伐採もされていて見晴らしはいい。ただし急斜面が多く道も悪いため気を付けないと転びそうである。急斜面の左側は下まで切れ込んでいて谷底

はかなり深い。上りで疲れた脚をいたわりながらいったん急な道を降りると尾根道となり、13時10分に小さな広場に出た。長者屋敷ノ頭と思われ「シラジクボ」「水場」への表示もある。

この後は再度尾根から下りだし、地図にも出ているがジグザグの急降下となる。植林の道なのでジグザグでも歩くにはそれほど急ではないがかなりの高度を一気に下った。14時00分橋立川にたどり着き、川沿いに下ると10分ほどで林道が始まる。この川の上流は滝あり岩ありで、溪谷美といっても差し支えないきれいな谷である。かなり荒れていて車は通行不能な崩落箇所もある川沿いの林道をてくてく歩く。歩くのに飽きてきたころ民家が見え出して、14時55分くらいに「橋立鍾乳洞」入り口のある蕎麦屋(?)を通り過ぎる。ここまでくれば駅は近いともう一歩きして浦山口駅に15時10分に到着した。

浦山口駅は秩父鉄道なので、少し前まではSUICAが使えなかった。現金で切符を買おうと思ったらSUICAが使えるようになっていたので驚いた。15時38分の電車は西武線直通の飯能行なのでラッキーであった。西武秩父から横瀬を通過するころ右手に大きく見える武甲山に車内から別れを告げた。横縞が無数に入った武甲山のあの山頂に本当に立ったのだろうかと思議な気持であった。ひと眠りしていると16時38分に飯能駅に着いた。

このまま帰るわけにはいかないと反省会場を探すが飯能駅付近は飲食店が少ない。駅ビルの中にある「内山農場」なる居酒屋を見つけて無事反省会ができた。明日からお仕事の人もいるので、控えめに飲んだが話は弾んで2時間近く反省した。きつかったけど天気は良く静かで楽しい山行であったといつもの結論に達した。18時40分ごろ解散し中島さんは東飯能駅に向かい、残りの3名は池袋方面に向かった。

今回は念願の武甲山に登れて、宿題が一つ片付いた感じである。天気は最高の快晴であったし大変楽しい山行であったが、ひたすら上りのコースで非常に疲れた山行であった。このところの運動不足を痛感した山行でもあった。

(伊藤)



武甲山山頂にて